

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公開番号】特開2005-137668(P2005-137668A)

【公開日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-021

【出願番号】特願2003-378538(P2003-378538)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月16日(2007.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

絵柄を変動表示する複数のリールと、前記各リールに対応し遊技者がそれぞれのリール毎に停止操作を行うための複数のストップボタンと、停止操作された前記各リールが表示する絵柄の表示態様に基づいて成立する入賞の確率が通常よりも高く設定される前記各リールの停止順序を抽選する内部抽選手段と、を備える遊技機であって、

前記各ストップボタンには数値表示素子がそれぞれ備えられ、

該各数値表示素子は、前記内部抽選手段が抽選した停止順序に従って、それぞれ対応する前記リールの当該停止順番号を表示することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

絵柄を変動表示する複数のリールを有し停止操作された前記各リールが表示する絵柄の表示態様に基づいて入賞が成立する遊技機に搭載され、前記各リールに対応し遊技者がそれぞれのリール毎に停止操作を行うための複数のストップボタンを備えてなる遊技機用操作ボタン装置であって、

前記各ストップボタンには数値表示素子がそれぞれ備えられ、

前記数値表示素子は、当該遊技機に備えられる内部抽選手段により抽選され、入賞の確率が通常よりも高く設定される前記各リールの停止順序に従って、それぞれ対応する前記リールの当該停止順番号を表示することを特徴とする遊技機用操作ボタン装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1に記載の発明は、絵柄を変動表示する複数のリールと、前記各リールに対応し遊技者がそれぞれのリール毎に停止操作を行うための複数のストップボタンと、停止操作された前記各リールが表示する絵柄の表示態様に基づいて成立する入賞の確率が通常よりも高く設定される前記各リールの停止順序を抽選する内部抽選手段と、を備える遊技機であって、前記各ストップボタンには数値表示素子がそれぞれ備えられ、該各数値表示素子

は、前記内部抽選手段が抽選した停止順序に従って、それぞれ対応する前記リールの当該停止順番号を表示することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1に記載の遊技機によれば、内部抽選手段が抽選した各リールの停止順番号を、各リールに対応するストップボタンに備えられた数値表示素子が表示する。このため、入賞の確率が通常よりも高く設定されたストップボタンの操作順序を遊技者が容易に認識することができる。したがって、遊技操作について熟練した技術を有していない遊技者でも興趣を損なうことなく遊技を楽しむことができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項2に記載の発明は、絵柄を変動表示する複数のリールを有し停止操作された前記各リールが表示する絵柄の表示態様に基づいて入賞が成立する遊技機に搭載され、前記各リールに対応し遊技者がそれぞれのリール毎に停止操作を行うための複数のストップボタンを備えてなる遊技機用操作ボタン装置であって、前記各ストップボタンには数値表示素子がそれぞれ備えられ、前記数値表示素子は、当該遊技機に備えられる内部抽選手段により抽選され、入賞の確率が通常よりも高く設定される前記各リールの停止順序に従って、それぞれ対応する前記リールの当該停止順番号を表示することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項2に記載の遊技機用操作ボタン装置によれば、遊技機の内部抽選手段が抽選した各リールの停止順番号を、各リールに対応するストップボタンに備えられた数値表示素子が表示する。このため、入賞の確率が通常よりも高く設定されたストップボタンの操作順序を遊技者が容易に認識することができる。したがって、遊技操作について熟練した技術を有していない遊技者でも興趣を損なうことなく遊技を楽しむことができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項1又は2に記載の発明によれば、各ストップボタンに備えられた数値表示素子が当該ストップボタンに関連する数値情報を遊技者に表示することで、当該遊技機の操作性又は遊技者の利便性等が向上する。

また、遊技機の内部抽選手段が抽選した、入賞の確率が通常よりも高く設定された各リールの停止順番号をそれぞれ対応する数値表示素子が表示することで、遊技操作について熟練した技術を有していない遊技者でも興奮を損なうことなく遊技を楽しむことができるようになる。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】